

## 感染症情報 8月26日～9月1日

府下小児科197医療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	790例(堺市	45例)
②RSウイルス感染症	467例(堺市	60例)
③溶連菌感染症	295例(堺市	35例)
④手足口病	285例(堺市	16例)
⑤ヘルパンギーナ	189例(堺市	19例)

府下インフルエンザ定点301医療機関(堺市29)から

インフルエンザ	25例(堺市	0例)
---------	--------	-----

感染症報告数は前週比28.9%増の2,485件であった。

報告数の第1位は感染性胃腸炎、以下RSウイルス感染症、溶連菌感染症、手足口病、ヘルパンギーナの順であった。

感染性胃腸炎は府下で前週と比較して13%増、堺市では2%増であった。RSウイルス感染症が府下で91%増、堺市で29例→60例(117%増)であった。流行してきている。溶連菌感染症は府下で46%増、堺市で17例→35例であった。手足口病は府下で31%増、堺市で6例→16例であった。ヘルパンギーナは府下で26%増、堺市で10例→19例であった。

麻疹の報告はなかったが、風疹の報告が1例(堺市はなし)あり、年始からの府内累積報告数は126例となった。